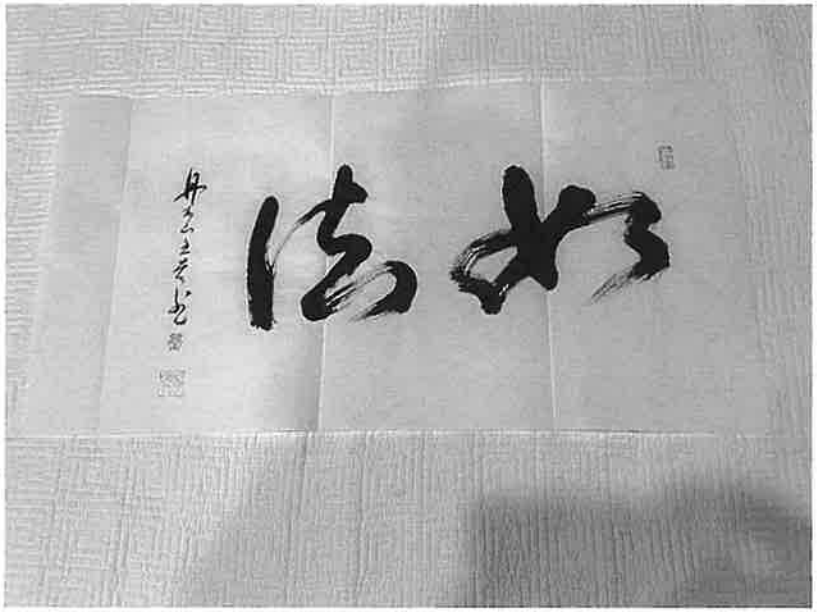
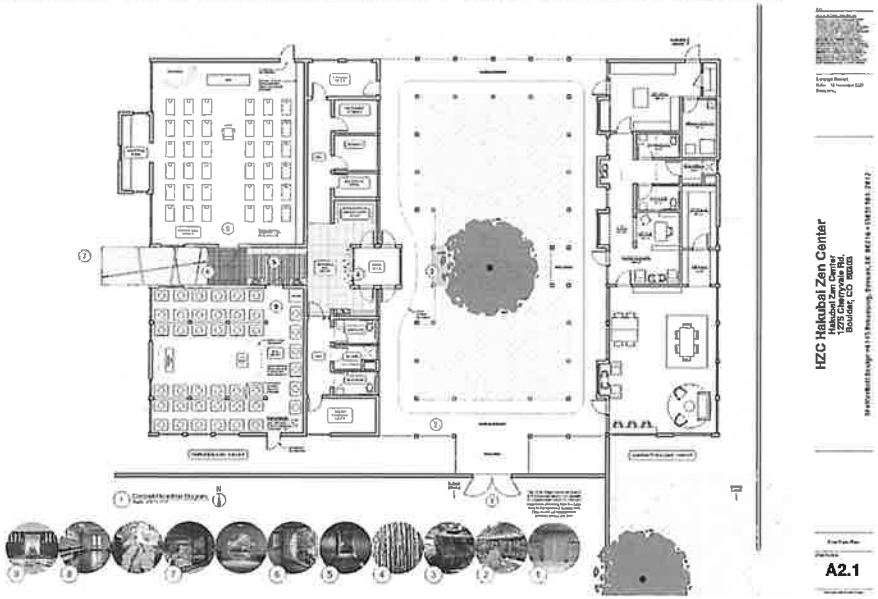
如法ということ

定光寺　乙川文英

令和六年十二月二十四日　加茂法話会

『僧堂の行持：如法の衣食住』より

僧堂に起居する者でも一般社会生活に於ても、不可欠のものが衣食住で、仏法も世法もその点では別はないが、如法という以上は仏法の道理、如法の条件にかなうものであらねばならぬ。これは仏祖正伝の甘露の白法である。即ち釈尊の教えにかない、教律論に示す本義を伝えてある点で如法の条件体色量が世間法と根本的に異る。

衣 ― 袈裟
食 ― 応量器
住 ― 僧堂

三如法
- 体 ― 糞掃
- 色 ― 壊色
- 量 ― 適量